


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる」









項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる	

（注）3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、半導体不足の影響による供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年7月判断）	今回（3年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	
生産活動	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	3年度は前年度を下回る見込み	3年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅は拡大	「下降」超幅は縮小	
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある」

コンビニエンスストア販売は、食料品などが好調であり前年を上回っている。ドラッグストア販売は、化粧品などが低調であるものの、食料品などが好調であり、おおむね横ばいとなっている。家電販売は、白物家電などが堅調であるものの、特別定額給付金の効果の反動により、前年を下回っている。百貨店販売は、新型コロナウイルス感染症や天候不順の影響で来店客数が減少し、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも半導体不足の影響により、前年を下回っている。これらのことなどから、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。

（主なヒアリング結果）

- サラダや、中食需要で冷凍食品が好調に推移しているほか、オリンピックの開催で家飲み需要が増えたことから、アルコール飲料も好調。（コンビニエンスストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などで化粧品が低調となっているほか、販売価格の低下により、マスクなどで昨年の反動が出ているが、食料品や解熱鎮痛剤が好調なことから、売上げ・来店客数ともに前年並みとなっている。（ドラッグストア）
- 昨年の特別定額給付金の反動があるものの、買い替え需要や巣ごもり需要により、テレビや冷蔵庫が堅調。（家電量販店）
- 高額商品は好調であるものの、緊急事態宣言等の発出や8月の長雨により来店客数が減少し、衣料品を中心に売上げが減少している。（百貨店）
- 新型車の発売もあり、好調に推移してきていたが、半導体不足による工場の稼働停止や、東南アジアからの部品供給の停滞により、供給面で影響が出てきており、納車が遅れている。（自動車販売）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により来店客数が減少しているうえ、大雨の日も多く、来店客数がさらに激減した。（スーパー）

■ 生産活動 「供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる」

汎用・生産用・業務用機械は、企業の設備投資意欲の回復により、需要が持ち直していることから、増加している。電気機械は、スマートフォン向けや車載向けなどで需要が堅調であることから、増加している。鉄鋼は、足下で自動車向けの需要に弱い動きがみられるものの、産業機械向けや建材向けなどで需要が堅調であることから、増加している。一方、輸送機械は、自動車において、半導体不足などの影響により生産調整が続いていることから、減少している。化学は、食品包装材向けや半導体製造装置の部材向けなどで需要が堅調であるものの、複数の事業所で定期修理が行われたことにより、減少している。このように、生産活動は、供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる。

- 企業の設備投資意欲が回復しており、需要が持ち直していることから、高めの生産水準となっている。（生産用機械）
- 5G（第5世代移動通信システム）に関連して、スマートフォンや基地局向けで需要が堅調なほか、車載向けについても堅調な需要を維持しており、高操業での生産が続いている。（電気機械）
- 半導体不足による自動車メーカーの生産調整の影響から、足下で自動車向けの需要が減少しているものの、産業機械や建材、造船向けなど、多くの品目で需要が堅調となっており、自動車向けの需要の減少をカバーできていることから、フル稼働が続いている。（鉄鋼）
- 世界的な半導体不足に加え、東南アジアにおいて新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している影響を受け、半導体を使用する部品の調達に支障が出ていることから、部品の調達状況に応じた生産調整が続いている。（自動車）
- 食品包装材向けや半導体製造装置の部材向けなどの需要が堅調であり、高めの生産水準を維持しているものの、定期修理を行ったことにより、生産量が減少している。（化学）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準と比べて低水準で推移しているものの上昇基調にあるほか、新規求人数の増加がみられるなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

- 生産調整を実施している一方、今後の生産増加を見据え、期間従業員を募集して人手の確保に努めている。（自動車）
- コロナ禍以降、他業種での採用が縮小した影響もあって求人への応募が増えているものの、慢性的な人手不足が続いている。（運輸・郵便）
- 新規求人数について、製造業を中心に多くの業種で増加している。新型コロナウイルスワクチン接種の進展などによる感染状況の落ち着きなどを見据えて求人を行う動きもみられる。（公的機関）

■ **設備投資** 「3年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 製造業では、「情報通信機械」、「石油・石炭」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「運輸・郵便」、「農林水産」などで増加するものの、「金融・保険」、「電気・ガス・水道」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。

- 新型車対応のための設備投資。(自動車)
- 前年度の営業店建て替えによる投資の反動。(金融・保険)

■ **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 製造業では、「その他の輸送用機械」、「情報通信機械」で減益となるものの、「鉄鋼」、「石油・石炭」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」、「その他のサービス」などで減益となるものの、「小売」、「宿泊・飲食サービス」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超幅は縮小」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年7-9月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、貸家、分譲住宅などが増加していることから、前年を上回っている。

■ **輸出** 「前年を上回る」

- 管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、船舶が減少しているものの、鉄鋼、自動車などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加している。
 なお、輸入は、原油及び粗油、鉄鉱石などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、中東、大洋州などで増加している。

3. 各県の総括判断

	前回(3年7月判断)	今回(3年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症及び天候不順の影響により、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
島根県	一部に感染症の影響が残るものの、持ち直しつつある	感染症の影響が残るなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直しつつある。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、弱含んでいる。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きに一服感がみられる	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。生産活動は、供給面での制約などから自動車を中心に減少しており、持ち直しの動きに一服感がみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる。生産活動は、サプライチェーンの問題により一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。